

BOSE

TV SPEAKER (2ND GEN)

安全上の留意項目および使用方法をよく読み、それに従ってください。

適合宣言書については、www.Bose.com/complianceを参照してください。

CE Bose Corporationは、この製品がEU指令2014/53/EUおよび該当するその他すべてのEU指令の必須要件およびその他の該当条項に準拠していることを宣言します。

安全上の留意項目

この製品を水の近くで使用しないでください。

お手入れは乾いた布を使用して行ってください。

極性プラグを使用する場合、極性プラグや接地極付きプラグの安全機能を損なうような使い方はしないでください。極性プラグには2つの端子があり、片方の端子がもう一方の端子よりも幅が広がっています。また、接地極付きプラグには2つの端子に加え、接地用のアース端子が付いています。極性プラグの広い方の端子および接地極付きプラグのアース端子は、お客様の安全を守る機能を果たします。製品に付属のプラグがお使いのコンセントに合わない場合は、電気工事業者などにご相談ください。

必ず指定された付属品、あるいはアクセサリのみをご使用ください。

修理が必要な際には、Boseカスタマーサービスにお問い合わせください。製品に何らかの損傷が生じた場合、たとえば電源コードやプラグの損傷、液体や物の内部への侵入、雨や湿気などによる水濡れ、動作の異常、製品本体の落下などの際には、直ちに電源プラグを抜き、修理をご依頼ください。

警告/注意

⚠ WARNING	
• INGESTION HAZARD: This product contains a button cell or coin battery. • DEATH or serious injury can occur if ingested. • A swallowed button cell or coin battery can cause Internal Chemical Burns in as little as 2 hours. • KEEP new and used batteries OUT OF REACH of CHILDREN • Seek immediate medical attention if a battery is suspected to be swallowed or inserted inside any part of the body.	

- 電池を飲み込まないでください。化学薬品によるやけどを負う恐れがあります。
- この製品に付属のリモコンにはボタン電池が使用されています。ボタン電池を飲み込むと、体内で2時間以内に深刻な化学薬品によるやけどを負って生命を脅かす恐れがあります。
- 電池はお子様の手の届かないところに保管してください。
- 使用済みの電池であっても、重傷を負ったり死亡したりする恐れがあります。
- 電池ケースは必ずきちんと閉めてください。電池ケースがきちんと閉まらない場合は、製品の使用をやめて電池を取り出し、お子様の手の届かないところに保管してください。
- 電池が極性(+-)に従って正しく入れられていることを確認してください。
- 古い電池と新しい電池を混ぜたり、アルカリ電池、炭素亜鉛電池、充電式電池など、異なるブランドや種類の電池と一緒に使用したりしないでください。
- 電池を飲み込んだ場合や、身体の中に入ってしまった場合は、すぐに医師の診断を受けてください。
- 治療法については、最寄りの毒物管理センターにお問い合わせください。
- 破裂や発火、やけどなどの危険がないように、電池の交換は慎重に行い、使用が認められている電池のみを使用してください。
- 使用済みの電池は、取り外して直ちにリサイクルするか、地域の規則に従って廃棄してください。また、お子様の手の届かないところに置いてください。電池を家庭用ゴミ箱に捨てたり、焼却したりしないでください。
- 長期間使用しない機器からは電池を取り外し、直ちにリサイクルするか、地域の規制に従って廃棄してください。

- ・ 電池の強制放電や、再充電、分解、85°C以上の加熱、焼却はしないでください。ガス漏れ、液漏れ、爆発により、怪我をしたり化学やけどを負ったりする恐れがあります。
- ・ 非充電式電池は充電しないでください。
- ・ 電池/バッテリータイプ: **CR2032** | 公称バッテリー電圧: **3V**



のどに詰まりやすい小さな部品が含まれています。**3歳未満のお子様には適していません。**



この製品には磁性材料が含まれています。体内に埋め込まれている医療機器への影響については、医師にご相談ください。

- ・ 安全な設置のための注意事項: 製品の下のコム足がきれいな状態で、ゴミなどが付着していないことを確認してください。製品は清潔でほこりのない、安定した水平な面に設置してください。正しく設置するには、すべてのコム足が台の上しっかりと載っている必要があります。音の振動によって製品が移動し、落下する危険がありますのでご注意ください。椅子や人がいる場所の上には設置しないでください。
- ・ 火災や感電を避けるため、雨や水滴、飛沫、湿気などにさらされるような場所で本製品を使用しないでください。また、花瓶などの液体が入った物品を本製品の上や近くに置かないでください。
- ・ 火気や熱源などの近くで使用しないでください。火の付いたろうそくなどの火気を、製品の上や近くに置かないでください。
- ・ 許可なく製品を改造しないでください。
- ・ インバータ電源は使用しないでください。
- ・ 車内や船上などで使用しないでください。
- ・ 万が一の事故や故障に備えるために、よく見えて手が届く位置にあるコンセントに電源プラグを接続してください。



標高**2000 m**を超える高地での使用には適していません。

- ・ 本製品に付属の電池/バッテリーは、取り扱いを誤ったり、正しく交換しなかったり、誤ったタイプの電池/バッテリーと交換したりすると、火災や爆発、化学やけどなどの原因になる恐れがあります。
- ・ 電池/バッテリーが含まれる製品を直射日光や炎など、過度な熱にさらさないでください。
- ・ 本製品を壁掛け設置するには、次の金具のみを使用してください: **Bose** サウンドバー用ウォールブラケット。壁面の強度が十分でない場合や、壁の裏側に電線や配管などがある場合は、ブラケットを使用しないでください。ブラケットの取り付け方法がわからない場合は、専門業者に作業を依頼してください。壁掛けブラケットを取り付ける際は、建築関連法規に従ってください。
- ・ 以下の面のみに取り付けてください。
 - 厚さ**10 mm**以上の板壁
 - コンクリート
 上記以外の壁に取り付ける場合は、専門業者に作業を依頼してください。
- ・ 本製品を設置する際には、テレビやモニターの通気孔を塞がないようにしてください。テレビやモニターに付属の取扱説明書を参照し、製造元の指示に従って設置してください。
- ・ 空気の流れが妨げられる恐れがあるため、本製品を壁のくぼみや密閉された家具の中には置かないでください。
- ・ 暖炉、ラジエーター、暖房送風口、ストーブ、その他の熱を発する装置(アンプを含む)の近くには設置しないでください。
- ・ 製品ラベルはスピーカーの背面にあります。

警告: 潤滑剤、洗浄剤、接点スプレー、炭化水素系溶剤など、**Bose** が指定していない化学物質に製品や取り付け部品をさらさないでください。このような物質にさらされると、プラスチック素材が劣化し、ひび割れが生じて落下の危険を招く可能性があります。

注: 本製品は、FCC規則のパート15に定められたクラスBデジタル装置の規制要件に基づいて所定の試験が実施され、これに準拠することが確認されています。この規制要件は、住宅に設置した際の有害な干渉に対し、合理的な保護となるように策定されています。本製品は無線周波数エネルギーを発生・利用・放射することがありますので、指示どおりに設置および使用されない場合は、無線通信に有害な電波干渉を引き起こす可能性があります。しかし、特定の設置条件で干渉が発生しないことを保証するものではありません。本製品が、電源のオン・オフによりラジオ・テレビ受信に有害な干渉を引き起こしていると確認された場合、次の1つあるいはいくつかの方法で対処を試みることをおすすめします。

- ・ 受信機やアンテナの向きや位置を変える。
- ・ 機器と受信機の間隔を広げる。
- ・ 受信機の接続されているコンセントとは別の回路のコンセントに本製品を接続する。
- ・ 販売店もしくは経験豊富なラジオ・テレビ技術者に相談する。

Bose Corporationによって明確な許諾を受けていない本製品への変更や改造を行うと、この機器を使用するユーザーの権利が無効になります。

このデバイスは、FCC規則のパート15およびカナダイノベーション・科学経済開発省のライセンス適用免除RSS規則に準拠しています。動作は次の2つの条件に従う必要があります: (1) 本製品は有害な干渉を引き起こしません。(2) 本製品は、不適切な動作を招く可能性がある干渉を含め、いかなる干渉も対応できなければなりません。

本機は、ラジエーターと身体との間を20 cm以上離して設置して動作させる必要があります。

FCC ID: A94445211

CAN ICES (B) / NMB (B)

ヨーロッパ向け: 運用周波数帯: 2400 ~ 2483.5 MHz | 最大送信出力 20 dBm EIRP 未滿

最大送信出力が規制値を下回っているため、SARテストは不要で、適用される規制ごとに免除されます。



この記号は、製品が家庭ごみとして廃棄されてはならず、リサイクル用に適切な収集施設に送る必要があることを意味しています。適切な廃棄とリサイクルにより、自然資源、人体の健康、環境が保護されることになります。本製品の廃棄およびリサイクルに関する詳細は、お住まいの自治体、廃棄サービス、または本製品を購入された店舗にお問い合わせください。

低電力無線デバイスに関する技術規則

会社、企業、またはユーザーは、NCCの許可なく、承認済みの低電力無線デバイスの周波数を変更したり、送信出力を強化したり、元の特性および性能を改変したりすることはできません。低電力無線デバイスが、航空機の安全に影響を及ぼしたり、正規の通信を妨害したりすることはできません。発見された場合、ユーザーは干渉が発生しなくなるまで直ちに使用を中止しなければなりません。上述の正規の通信とは、電気通信管理法に基づいて運用される無線通信を意味します。低電力無線デバイスは、正規の通信またはISM帯電波を放射するデバイスからの干渉に対応できなければなりません。

電力状態に関する情報: 本製品は、エネルギー関連製品のエコデザイン要件に関する指令 2009/125/EC およびエネルギー関連製品およびエネルギー情報のエコデザイン (改正) (EU 離脱) 規則 2020 に基づき、欧州委員会規則 (EU) 2023/826 に適合しています。さまざまなスタンバイモードにおける消費電力や、本製品が自動的にそれらのモードに戻るまでの時間に関する情報については、www.Bose.com/compliance にアクセスし、該当する規則を選択してください。

有線ネットワーク	
有線ネットワークポートの有効化/無効化手順。 すべてのネットワークを無効にすると、スタンバイモードが有効になります。	HDMI: HDMI 接続を有効にするには、HDMI ケーブルの一方をスピーカーの HDMI 端子に、もう一方をオーディオソースに接続します。 無効にするには、HDMI ケーブルを取り外してください。



使用済みの電池/バッテリーは、お住まいの地域の条例に従って正しく処分してください。 焼却しないでください。



R-R-Bos-445211

보스코리아 유한회사

有毒/有害物質または成分の名称および含有量										
	有毒/有害物質および成分									
パーツ名	鉛 (Pb)	水銀 (Hg)	カドミ ウム (Cd)	六価ク ロム (CR(VI))	ポリ臭化ビ フェニル (PBB)	ポリ臭化ジ フェニル エーテル (PBDE)	フタル 酸ジブ チル (DBP)	フタル酸 ジイソ ブチル (DIBP)	フタル酸 ブチルベ ンジル (BBP)	フタル酸ビス (2-エチルヘキ シル) (DEHP)
PCB	X	O	O	O	O	O	O	O	O	O
金属パーツ	X	O	O	O	O	O	O	O	O	O
プラスチック パーツ	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O
スピーカー	X	O	O	O	O	O	O	O	O	O
ケーブル	X	O	O	O	O	O	O	O	O	O
この表はSJ/T 11364の規定に従って作成されています。										
O: このパーツに使用されているすべての均質物質に含まれている当該有毒/有害物質が、GB/T 26572の制限要件を下回っていることを示します。										
X: このパーツに使用されている1種類以上の均質物質に含まれている当該有毒/有害物質が、GB/T 26572の制限要件を上回っていることを示します。										

制限される物質および化学記号						
ユニット名	鉛 (Pb)	水銀 (Hg)	カドミウム (Cd)	六価クロム (Cr ⁶⁺)	ポリ臭化ビフェニル (PBB)	ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE)
PCB	—	○	○	○	○	○
金属/パーツ	—	○	○	○	○	○
プラスチックパーツ	○	○	○	○	○	○
スピーカー	—	○	○	○	○	○
ケーブル	—	○	○	○	○	○
注1: 「○」は、制限される物質のパーセント含有量が、参照値のパーセントを超えていないことを示します。 注2: 「—」は、制限される物質が免除に該当することを示します。						

製造日: シリアル番号の8桁目の数字は製造年を表します。「6」は2016年または2026年です。

輸入元: Bose Electronics (Shanghai) Company Limited, Level 6, Tower D, No. 2337 Gudai Rd. Minhang District, Shanghai 201100 | Bose Products B.V., Vijzelstraat 68, 1017HL Amsterdam, The Netherlands | Ingram Micro Mexico SA de CV, Joselillo 3 Int. Piso 5 Col. El Parque, Naucalpan de Juarez, Edo Mex 53398 電話 番号: +52 55 5263 6500 | Bose Limited (H.K.), 7F., No. 2, Sec.3, Minsheng E. Road, Zhongshan Dist., Taipei City 104511, 電話番号: +886-2-2514 7676 | Bose Limited, 16 Dufour's Place, London W1F 7SP

メキシコのサービスの電話番号: 0800-266-0292

入力定格: 100 ~ 240V へ、50/60Hz、36W

モデル: 445211。CMIIT IDはスピーカー背面の製品ラベルに記載されています。

カリフォルニア州: 過塩素酸塩素材を含むリチウムイオン電池が含まれています。特別な取り扱いが適用される場合があります。www.dtsc.ca.gov/hazardouswaste/perchlorateを参照してください。

製品保証の詳細はworldwide.Bose.com/Warrantyをご覧ください。

ライセンス開示情報: Bose TVスピーカー (第2世代)のコンポーネントとして含まれるオープンソースソフトウェアパッケージに適用されるライセンスの開示情報は、www.Bose.com/tvs2disclosuresで確認できます。このライセンス開示情報は、Boseが提供する今後のソフトウェアアップデートパッケージの一部としても入手可能です。詳しくはsupport.Bose.com/tvs2をご覧ください。

Bluetooth®のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標で、Bose Corporationはこれらの商標を使用する許可を受けています。

Dolby Audio Dolby、Dolby Audio、およびダブルDマークはDolby Laboratories Licensing Corporationの商標です。この製品はDolby Laboratoriesのライセンスに基づいて製造されています。Confidential unpublished works. Copyright 1992-2019 Dolby Laboratories. All rights reserved.

HDMI HDMIおよびHDMI High-Definition Multimedia Interfaceの用語、HDMIのトレードドレス、およびHDMIのロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の米国および他の国々における商標または登録商標です。

Roku TV Ready Roku TV、Roku TV Ready、およびRoku TV Readyのロゴは、Roku, Inc.の商標です。本製品は、米国、ブラジル、カナダ、メキシコ、および英国においてRoku TV Readyに対応しています。対応する国や地域は予告なしに変更される場合があります。本製品がRoku TV Readyに対応する国や地域の最新リストについては、rokutvready@roku.comまでメールでお問い合わせください。

BoseおよびBのロゴはBose Corporationの商標です。| Bose Corporation Headquarters: 1-877-230-5639 | ©2026 Bose Corporation. 本書のいかなる部分も、書面による事前の許可のない複写、変更、配布、その他の使用は許可されません。

シリアル番号と認証マークの位置: この情報は、スピーカー背面の製品ラベルおよびスピーカー底面に記載されています。

製品情報の控え

シリアル番号: _____
モデル番号: 445211

ご購入時の領収書を保管することをおすすめします。製品の登録をお願いいたします。登録は弊社Webサイト(worldwide.Bose.com/ProductRegistration)から簡単に行えます。

内容物の確認

内容物.....	9
----------	---

スピーカーの設置

推奨事項	10
スピーカーを壁に取り付ける.....	11
壁に取り付けた状態で音響特性を調整する	11

スピーカーのセットアップ

スピーカーをテレビに接続する	12
スピーカーを電源に接続する.....	13

スピーカーの操作

リモコンの機能	14
電源	15
音量	16
ソース機器	17
ダイアログモード	18
低音を調整する	19
低音設定を元に戻す	20
他社製リモコンをプログラムする	21
スピーカーをプログラムモードにする	21
テレビのリモコンをプログラムする	22

BLUETOOTH® 接続

モバイル機器を接続する	23
モバイル機器の接続を解除する	24
モバイル機器を再接続する	24
別のモバイル機器を接続する.....	25
スピーカーのデバイスリストを消去する	25

スピーカーの状態

Bluetooth 接続の状態	26
メディアの再生と音量の状態	27
エラーの状態	28

ROKU TV™に接続する

Roku TV Ready™	29
----------------------	----

別の接続方法

代替ケーブルオプション	30
テレビに光デジタル端子しかない	31
テレビにアナログ出力端子しかない	32
テレビにヘッドホン出力端子しかない	33
スピーカーからの音声を確認する	34
その他のコントロール機能	34
自動ウェイク機能(光デジタル/アナログ接続時のみ)	34

アクセサリ機器を接続する(オプション)

35

補足事項

シリアル番号と認証マークの位置	36
スピーカーをアップデートする	36
リモコンの電池を交換する	36
お手入れについて	37
交換部品とアクセサリ	37
保証	38

トラブルシューティング

最初にお試しいただくこと	39
その他の対処方法	39

内容物

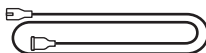
下図の内容物がすべて同梱されていることを確認してください。



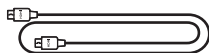
Bose TVスピーカー (第2世代)



Bose TVスピーカー (第2世代) リモコン
(電池付属)



電源コード*



HDMI ケーブル

* 電源コードは2つ以上付属する場合があります。お使いの国・地域に適したものをお使いください。

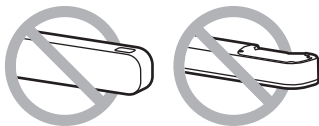
注: 万が一、開梱時に内容物の損傷や欠品などが見られた場合は、使用しないでください。トラブルシューティング情報(記事、ビデオ)と製品の修理や交換については、support.Bose.com/tvs2をご参照ください。

推奨事項

- スピーカーは金属製キャビネットや他のAV機器、熱源などから離れた場所に設置してください。キャビネットの中には置かないでください。
- スピーカーは、グリルを部屋の中央に向けた状態で、テレビの真下(推奨)または真上に配置します。
- スピーカーは、ゴム足を下にして安定した水平な面に設置してください。正しく設置するには、両側の足が台の上にしっかりと載っている必要があります。特に大理石やガラス、磨き上げた木などの滑りやすい表面では、音の振動でスピーカーの位置がずれることがあります。
- スピーカーを本棚やテレビ台などに置く場合は、最適な音質を得るために、できるだけ棚や台の前面に近づけてください。
- スピーカーの背面を壁や家具などから1 cm以上離してください。背面にある開口部が塞がれると、音質が低下する恐れがあります。
- 電源コンセントが近くにある場所に設置してください。
- 無線の干渉を回避するために、ほかのワイヤレス機器から30 ～ 90 cmほど離れた場所に設置してください。
- 最高の音質をお楽しみいただくため、スピーカーを戸棚の中に設置したり、お部屋の角に斜めに設置したりしないでください。
- スピーカーの上には物を置かないでください。



注意: スピーカーの前面や背面、または天面を下にした状態で使用しないでください。



スピーカーを壁に取り付ける

スピーカーは壁に取り付けることができます。Boseサウンドバー用ウォールブラケットは、お近くのBose製品取扱店、または弊社Webサイトでお求めいただけます。

次のサイトをご参照ください: support.Bose.com/tvs2

注意: 純正以外のアクセサリーを使用してスピーカーを設置しないでください。

壁に取り付けた状態で音響特性を調整する

スピーカーのTVインジケーターがオレンジに点滅するまで、リモコンのダイアログモードボタンを5秒間長押しします。



注: スピーカーを壁から取り外した場合は、再度この操作を行ってオーディオを再調整してください。

スピーカーをテレビに接続する

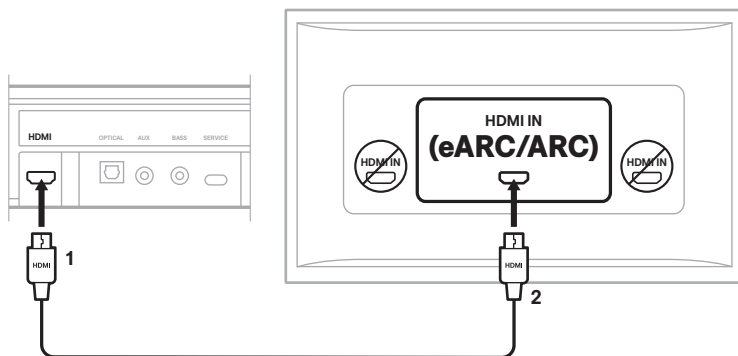
HDMIケーブルを使用して、テレビのHDMI IN eARC端子またはHDMI IN ARC端子にスピーカーを接続します。

注記:

- テレビのHDMI (eARC/ARC)端子を使用すると、テレビのリモコンを使用して、スピーカーの電源、音量、ミュート機能を操作できます。
- お持ちのテレビにHDMI (eARC/ARC)端子がない場合は、「代替ケーブルオプション」(30ページ)をご覧ください。
- スピーカーはRoku TV Readyに対応しています。Roku TVでスピーカーをセットアップする方法については、29ページをご覧ください。

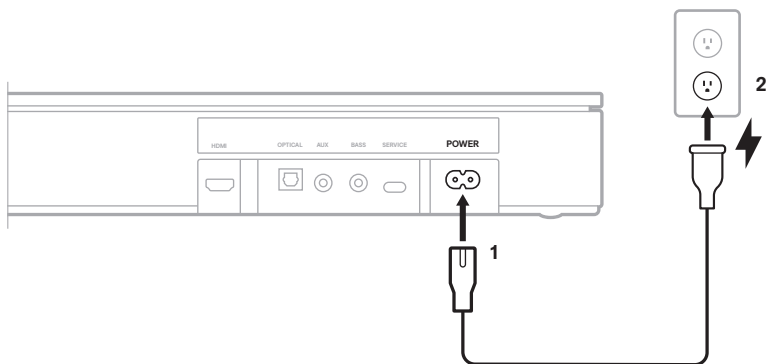
1. HDMIケーブルをスピーカーの背面にあるHDMI端子に接続します。
2. ケーブルのもう一方の端を、テレビの背面にあるHDMI IN (eARC/ARC)端子に接続します。

注: お使いのテレビによっては、端子パネルが図と異なる場合があります。必ず**HDMI IN eARC**または**HDMI IN ARC**と表示された端子を使用してください。通常のHDMI端子に接続した場合、スピーカーから音声は再生されません。



スピーカーを電源に接続する

1. 電源コードをスピーカーの背面にある **POWER** 端子に接続します。
2. 電源コードの反対側を、壁のコンセントに差し込みます。



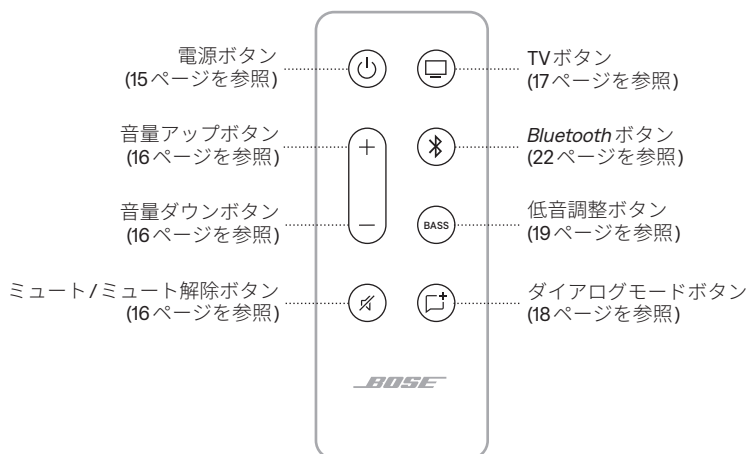
スピーカーの電源がオンになり、ピープ音が聞こえます。スピーカーはデフォルトでTV  ソースに設定されます。

注記:

- 別の接続方法を使用している場合、スピーカーはデフォルトでその接続先のソースに設定されます(30ページを参照)。
- *Bluetooth*対応モバイル機器を接続する場合は、*Bluetooth*ボタン  を押して機器を接続してください(23ページを参照)。

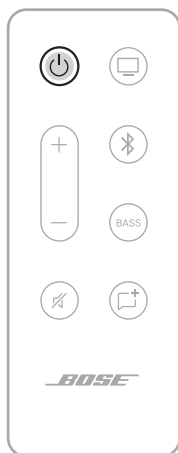
リモコンの機能

リモコンを使用して、スピーカーと *Bluetooth* 接続機器の操作を行います。



電源

スピーカーの電源をオンまたはオフにするには、リモコンの電源ボタン  を押します。



リモコンでスピーカーの電源をオンにすると、最後に使用していたソースにデフォルトで切り替わります。

注: 以前に *Bluetooth* 対応モバイル機器に接続していた場合は、*Bluetooth* ボタン  を押して機器を再接続してください(24 ページを参照)。

音量



機能	操作方法
音量を上げる	+ ボタンを押します。 注: 音量をすばやく上げるには、+ ボタンを長押しします。
音量を下げる	− ボタンを押します。 注: 音量をすばやく下げるには、− ボタンを長押しします。
ミュート/ ミュート解除 ボタン	🔇 ボタンを押します。 音声をミュートすると、元に戻すまでの間、スピーカーの現在のソースを示すインジケータ (TVまたはBluetooth) が白に点滅します (27 ページを参照)。 ヒント: + ボタンを押して、ミュート解除することもできます。

ヒント: Bluetooth 対応モバイル機器に接続している場合は、その機器からも音量を調節できます。

ソース機器

リモコンを使用して、テレビと *Bluetooth* 接続機器の操作を行うことができます。

ソース機器を選択するには、リモコンで、操作したいソース機器のボタン(TVボタン  または *Bluetooth* ボタン )を押します。



ダイアログモード

ダイアログモードは、映画やテレビ番組、ポッドキャストなどの台詞やボーカルが明瞭になるように、システムのオーディオバランスを調整する機能です。

リモコンのダイアログモードボタン  を押すたびに、ダイアログモードと通常モードのオーディオ設定が切り替わります。

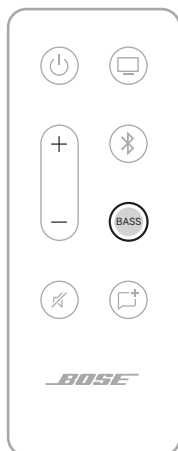


ダイアログモードをオンにすると、現在のソースを示すインジケーターが緑に点灯します (26 ページを参照)。

注: ダイアログモードをオンにすると、別のソースに切り替えたり、スピーカーをオフにしたりしても、現在のソースに対してダイアログモードが有効のままになります。ソースのダイアログモードをオフにするには、ダイアログモードボタン  をもう一度押します。

低音を調整する

1. リモコンの **BASS** ボタンを押します。



スピーカーのTVインジケーターと *Bluetooth* インジケーターが白に3回点滅します。

2. 次のいずれかを実行して低音を調整します。
 - ・ 音量アップボタン **+** を押すと、低音の音量が上がります。
 - ・ 音量ダウンボタン **-** を押すと、低音の音量が下がります。

現在の低音設定に応じて、スピーカーのTVインジケーターと *Bluetooth* インジケーターが点灯します。

低音設定	TV	Bluetooth
2 (最大)	■	□
1	■	□
0 (デフォルト)	◀ □ ▶	◀ □ ▶
-1	□	■
-2 (最小)	□	■

3. **BASS** ボタンを押します。

現在の低音設定がスピーカーに保存されます。

注: ニュースやトークショーなどの対話やトークのみの番組を最適な音質で楽しむ方法については、「ダイアログモード」(18 ページ)をご覧ください。

低音設定を元に戻す

スピーカーのTVインジケータと *Bluetooth* インジケータが3回点滅するまで、リモコンの **BASS** ボタンを長押しします。



低音設定が工場出荷時の状態に戻ります。

他社製リモコンをプログラムする

CATV/BS/CS用チューナーのリモコンなど、他社製リモコンをプログラムして、スピーカーの音量を調節することができます。

注: テレビでHDMI CECが有効になっている場合、自動的にテレビのリモコンでスピーカーの音量を操作できるので、リモコンをプログラムする必要はありません。

スピーカーをプログラムモードにする

スピーカーのTVインジケータと*Bluetooth*インジケータが3回点滅してから白く点灯するまで、スピーカーのリモコンのTVボタンを長押しします。



テレビのリモコンをプログラムする

1. スピーカーのリモコンの音量アップボタン **+** を押します。



スピーカーのTVインジケーターと *Bluetooth* インジケーターが点灯します。

2. テレビのリモコンの音量アップボタン **+** を2秒間長押しします。

ビープ音が聞こえ、TVインジケーターが2回オレンジ色に点滅してから白く点灯します。

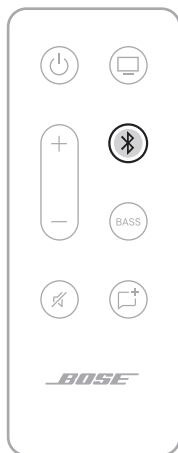
注: 失敗した場合は、ビープ音が聞こえ、TVインジケーターが2回赤く点滅してから白く点灯します。手順1～2を繰り返します。

3. 音量ダウンボタン **-** を使用して、手順1～2を繰り返します。
4. ミュートボタン **⏻** を使用して、手順1～2を繰り返します。

注: すべての他社製リモコンがスピーカーに対応しているわけではありません。他社製リモコンでスピーカーを操作するには、リモコンがIR (赤外線) 信号を送信できる必要があります。

モバイル機器を接続する

1. リモコンの *Bluetooth* ボタンを押します。



スピーカーの *Bluetooth* インジケーターが青にゆっくり点滅します。

2. お使いのモバイル機器で *Bluetooth* 設定を開きます。
3. 利用可能な製品のリストからスピーカーを選択します。



接続すると、ピープ音が聞こえます。 *Bluetooth* インジケーターが白く点灯します。接続されている製品のリストに「Bose TV Speaker 2」が表示されます。

モバイル機器の接続を解除する

モバイル機器の *Bluetooth* メニューを使用して、スピーカーの接続を解除します。

ヒント: モバイル機器の *Bluetooth* 機能を無効にして接続を解除することもできます。*Bluetooth* 機能を無効にすると、スピーカーとその他の *Bluetooth* 接続機器との接続がすべて解除されます。

モバイル機器を再接続する

リモコンの *Bluetooth* ボタンを押します。

スピーカーは、最後に接続していたモバイル機器への再接続を試みます。接続中は、スピーカーの *Bluetooth* インジケーターが白に点滅します。

注記:

- ・ モバイル機器の *Bluetooth* 接続が有効であることを確認してください。
- ・ モバイル機器との距離が9 m以内で、電源がオンになっている必要があります。

別のモバイル機器を接続する

スピーカーのデバイスリストには、モバイル機器を最大8台まで登録でき、同時に2台まで接続できます。

注: ただし、一度に音楽を再生できるモバイル機器は1台だけです。

1. リモコンの *Bluetooth* ボタンを押します。



2. モバイル機器で、利用可能な製品リストから「Bose TV Speaker 2」を選択します。

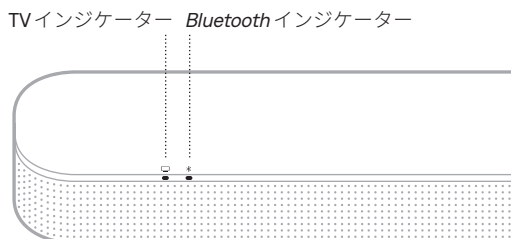
注: モバイル機器の *Bluetooth* 接続が有効であることを確認してください。

スピーカーのデバイスリストを消去する

1. ビープ音が聞こえるまで、リモコンの *Bluetooth* ボタンを押して10秒間長押しします。
2. モバイル機器の *Bluetooth* リストから「Bose TV Speaker 2」を削除します。

すべてのモバイル機器が消去され、スピーカーが新しい機器と接続可能な状態になります(23ページを参照)。

スピーカーの前面にあるLEDインジケーターには、スピーカーの状態が表示されます。



注: インジケーターには、現在のソースで最優先される状態が表示されます。

BLUETOOTH接続の状態

モバイル機器のBluetooth接続の状態を示します。

インジケーターの状態			システムの状態
Bluetoothインジケーターが青にゆっくり点滅			接続準備完了
Bluetoothインジケーターが白に点滅			接続しています
Bluetoothインジケーターが白に点灯			接続済み

メディアの再生と音量の状態

メディアの再生と音量を操作しているときのスピーカーの状態を示します。

インジケータの状態			システムの状態
TV インジケータが白に点灯			テレビの電源オン
Bluetooth インジケータが白に点灯			Bluetooth 機器に接続しました
TV インジケータが緑に点灯			テレビのダイアログモードが有効
Bluetooth インジケータが緑に点灯			Bluetooth 接続機器のダイアログモードが有効
TV インジケータが白に点滅			テレビの音量を調節中
Bluetooth インジケータが白に点滅			Bluetooth 接続機器の音量を調節中
TV インジケータが緑に点滅			ダイアログモードでテレビの音量を調節中
Bluetooth インジケータが緑に点滅			ダイアログモードで Bluetooth 接続機器の音量を調節中
TV インジケータが白にゆっくり点滅			テレビのミュートが有効
Bluetooth インジケータが白にゆっくり点滅			Bluetooth 接続機器のミュートが有効
TV インジケータが緑にゆっくり点滅			ダイアログモードでテレビをミュート
Bluetooth インジケータが緑にゆっくり点滅			ダイアログモードで Bluetooth 接続機器をミュート

エラーの状態

エラー警告の状態を示します。

インジケーターの状態			システムの状態
TVインジケーターが 赤に点滅			スピーカーエラー - 電源を抜いてから再度接 続してください。引き続 きエラーが発生する場 合は、Boseカスタマーサー ビスまでお問い合わせく ださい。

ROKU TV READY

Bose TV スピーカー (第2世代)は Roku TV Ready 認証を取得しています。HDMI ケーブルを使用して、スピーカーを Roku TV の HDMI eARC/ARC 端子に接続し、画面に表示されるセットアップ手順に従ってください。完了したら、Roku TV のリモコンでスピーカーを操作し、画面上の Roku TV 設定メニューを使用してスピーカーの設定にアクセスします。

注記:

- Roku TV Ready をサポートするには、スピーカーのソフトウェアアップデートが必要となる場合があります。詳細については、Bose カスタマーサービスまでお問い合わせください。次のサイトをご参照ください: support.Bose.com/tvs2
- 一部の地域では、Roku TV Ready に対応していない場合があります。詳しくは、次のサイトをご覧ください: go.roku.com/rocutvready

代替ケーブルオプション

一部のテレビにはHDMI eARC/ARC端子が搭載されていません。その場合は、別の接続方法を使用して、テレビにスピーカーを接続してください。

ケーブルを切り替える場合は、新しいケーブルを接続する前にスピーカーの電源をオフにしてください(15ページを参照)。

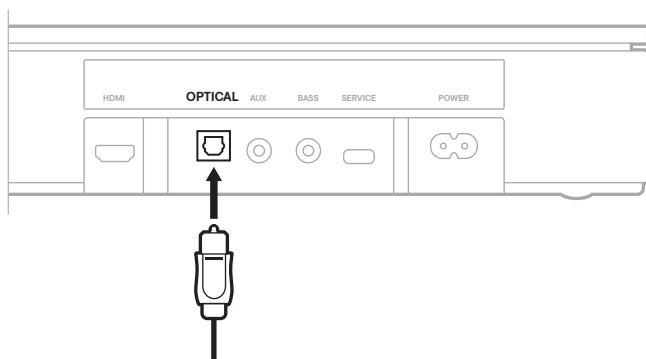
問題	対処方法
テレビに光デジタル端子しかない	光ケーブル(別売)を使用して、テレビを接続します。「テレビに光デジタル端子しかない」(31ページ)をご覧ください。
テレビにアナログ出力端子しかない	3.5 mmステレオ - RCAステレオ変換ケーブル(別売)を使用して、テレビを接続します。「テレビにアナログ出力端子しかない」(32ページ)をご覧ください。
テレビにヘッドホン出力端子しかない	3.5 mmステレオ音声ケーブル(別売)を使用して、テレビを接続します。「テレビにヘッドホン出力端子しかない」(33ページ)をご覧ください。

テレビに光デジタル端子しかない

テレビに光デジタル端子しかない場合は、光ケーブル(別売)を使用してスピーカーを接続します。

注意: 使用する前に、光ケーブルの両端に付いている保護カバーを必ず取り外してください。プラグにカバーを付けたまま、または間違った向きで差し込むと、プラグや端子が破損する恐れがあります。

1. 光ケーブルの一方をテレビの **OPTICAL** 端子に接続します。
2. プラグの向きをスピーカーの **OPTICAL** 端子に合わせて、慎重に接続してください。



注: 端子にはカバーが付いていて、プラグを差し込むとカバーが開きます。

3. カチッと言う音が聞こえるか、指先に感触があるまでプラグをしっかりと差し込みます。

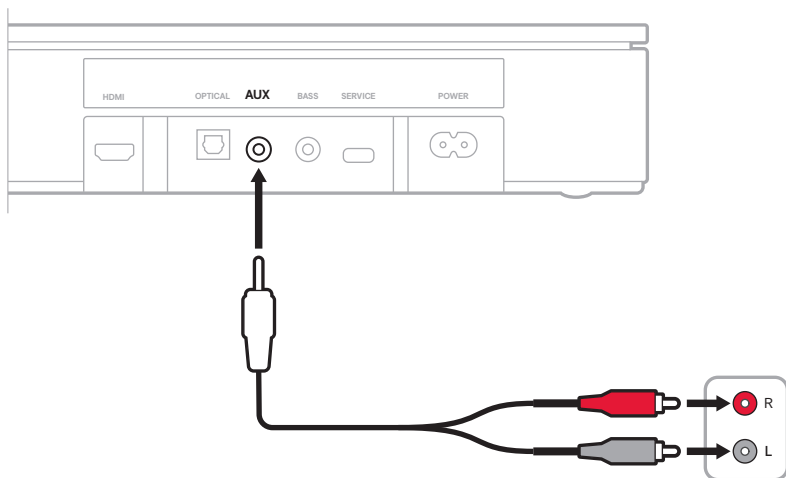


4. 音声スピーカーからのみ出力されていることを確認します(34ページを参照)。

テレビにアナログ出力端子しかない

テレビにアナログ出力端子(赤と白)しかない場合は、3.5 mm ステレオ - RCA ステレオ変換ケーブル(別売)を使用してスピーカーを接続します。

1. RCA アナログケーブルをテレビの**音声出力RCA** 端子(赤と白)に接続します。
2. ケーブルの反対側をスピーカーの **AUX** 端子に接続します。

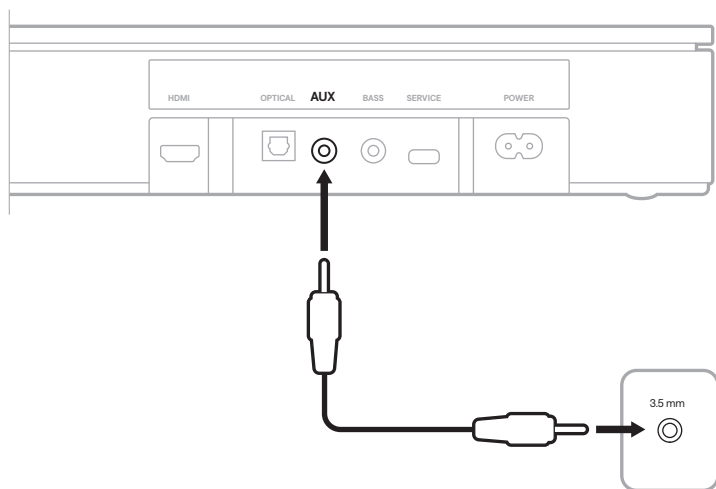


3. 音声スピーカーからのみ出力されていることを確認します(34ページを参照)。

テレビにヘッドホン出力端子しかない

テレビにヘッドホン出力端子しかない場合は、3.5 mmステレオ音声ケーブル(別売)を使用してスピーカーに接続します。

1. 3.5 mmステレオ音声ケーブルのプラグをテレビのヘッドホン出力端子に接続します。
2. ケーブルの反対側をスピーカーの AUX 端子に接続します。



3. 音声がスピーカーからのみ出力されていることを確認します(34ページを参照)。
4. スピーカーの音量を最適な状態にするには、次の手順に従います。
 - a. テレビの音量を75パーセント程度に調節します。
 - b. スピーカーのリモコンを使用して、スピーカーの音量を調節します。

スピーカーからの音声を確認する

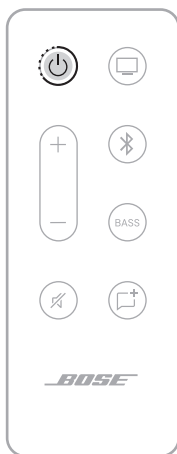
1. 代替ソースまたはCATV/BS/CSチューナーの電源をオンにします。
2. テレビで適切な入力を選択します。
3. テレビで音声を再生します。
4. Boseリモコンのミュートボタン  を押して、音声テレビではなくBoseスピーカーから出力されていることを確認します。テレビから音声が聞こえる場合は、テレビの取扱説明書を参照するか、support.bose.com/tvs2をご覧ください。

その他のコントロール機能

自動ウェイク機能(光デジタル/アナログ接続時のみ)

光ケーブルまたはアナログケーブルで音声信号を受信したらスピーカーの電源がオンになるように設定できます。

自動ウェイク機能とデフォルトの電源設定を切り替えるには、ピープ音が聞こえ、スピーカーのTVインジケーターとBluetoothインジケーターがオレンジに3回点滅するまで、電源ボタン  を長押しします。



これらのアクセサリ機器は、3.5 mmステレオ音声ケーブル(別売)を使用してスピーカーに接続できます。

- **Bose Lifestyle Ultra サブウーファー**
- **Bose Bass Module 500**
- **Bose Bass Module 700**

詳細については、アクセサリ機器の取扱説明書をご覧ください。

注: ベースモジュールはスピーカー背面の **BASS** 端子に接続します。**AUX** 端子には接続しないでください。

シリアル番号と認証マークの位置

シリアル番号と認証マークは、スピーカー背面の製品ラベルおよびスピーカー底面に記載されています。

スピーカーをアップデートする

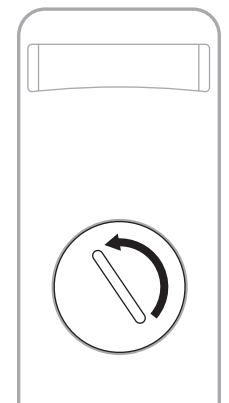
スピーカーのアップデート方法は次のサイトをご参照ください。
support.Bose.com/tvs2

リモコンの電池を交換する

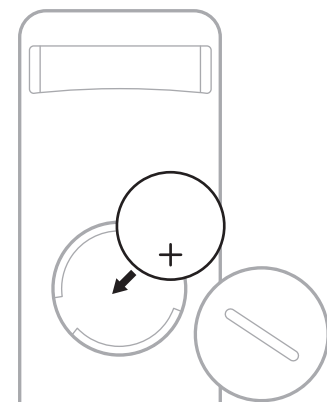
⚠ WARNING	
• INGESTION HAZARD: This product contains a button cell or coin battery. • DEATH or serious injury can occur if ingested. • A swallowed button cell or coin battery can cause Internal Chemical Burns in as little as 2 hours. • KEEP new and used batteries OUT OF REACH of CHILDREN • Seek immediate medical attention if a battery is suspected to be swallowed or inserted inside any part of the body.	

注: 詳しくは、「警告/注意」(2ページ)をご覧ください。

1. 硬貨などを使用して、電池カバーを左(反時計回り)に回し、カバーを取り外します。



2. +極の表示がある平らな面を上に向けて、新しい電池を装着します。



注: 法令(UL など)に準拠した3Vリチウムボタン電池(CR2032またはDL2032)を使用してください。

3. カバーを元に戻し、右(時計回り)に回してロックします。

お手入れについて

スピーカーの外装は柔らかい布でから拭きしてください。

注意:

- ・ スピーカーの上に液体がこぼれたり、開口部に液体が入り込んだりしないようにしてください。
- ・ スピーカーに空気を吹き付けしないでください。
- ・ スピーカーに掃除機をかけしないでください。
- ・ スピーカーの近くでスプレーを使用しないでください。
- ・ 溶剤、化学薬品、またはアルコール、アンモニア、研磨剤などを含むクリーニング液は使用しないでください。
- ・ 開口部に異物が入り込まないようにしてください。

交換部品とアクセサリー

交換部品とアクセサリーは、Bose製品取扱店、弊社Webサイト、またはお電話によるご注文でご購入いただけます。

次のサイトをご参照ください: support.Bose.com/tvs2

保証

製品保証の詳細はworldwide.Bose.com/Warrantyをご覧ください。

製品の登録をお願いいたします。登録は弊社Webサイト(worldwide.Bose.com/ProductRegistration)から簡単に行えます。製品を登録されない場合でも、保証の内容に変更はありません。

最初にお試しいただくこと

スピーカーに問題が生じた場合は、下記の点をご確認ください。

- ・スピーカーが通電している電源コンセントにしっかり接続されていること (13 ページを参照)。
- ・すべてのケーブルが確実に接続されていること。

Bluetooth デバイスへの接続に問題がある場合は、下の表を参照して一般的な解決策を確認してください。

症状	対処方法
スピーカーを <i>Bluetooth</i> デバイスに接続できない	機器の <i>Bluetooth</i> 機能をオフにしてから、オンにします。 <i>Bluetooth</i> リストからスピーカーを削除します。もう一度接続してみます (23 ページを参照)。 スピーカーのデバイスリストを消去します (25 ページを参照)。もう一度接続してみます (23 ページを参照)。 別の機器と接続して試してみてください (25 ページを参照)。 対応している <i>Bluetooth</i> 機器を使用していることを確認します。

その他の対処方法

問題が解決しない場合は、**Bose** アプリのトラブルシューティング機能、または次のサイトにある記事、ビデオ、その他のリソースをご利用ください。
support.Bose.com/tvs2-og

それでも問題が解決できない場合は、**Bose** カスタマーサービスまでお問い合わせください。

次のサイトをご参照ください。 worldwide.Bose.com/contact



AM904031-0010